

令和4年9月中間期 損保決算概況について

1. 保険引受の概況

(1) 正味収入保険料

正味収入保険料は、火災保険の増収などにより、前中間期(令和3年9月中間期)に比べ4.9%(2,199億円)増加して4兆7,087億円となりました。

(2) 正味支払保険金、損害率

正味支払保険金は、自然災害の影響による火災保険の支払いの増加や、交通量の回復に伴う自動車保険の支払いの増加などにより、前中間期に比べ11.3%(2,696億円)増加して2兆6,476億円となりました。

損害率は、正味支払保険金の増加などにより、前中間期に比べ3.3ポイント上昇して61.9%となりました。

(3) 事業費、事業費率、コンバインド・レシオ

保険引受に係る営業費及び一般管理費は、前中間期に比べ3.1%(195億円)増加して6,547億円となりました。

諸手数料及び集金費は、前中間期に比べ6.2%(504億円)増加して8,587億円となりました。

これらを合計した事業費は前中間期に比べ4.8%(699億円)増加し、事業費率は前中間期に比べ△0.1ポイント低下して32.1%となりました。

損害率と事業費率を合計したコンバインド・レシオは、前中間期に比べ3.2ポイント上昇して94.0%となりました。

(4) 保険引受利益(△損失)

以上の増減益要因に、その他の保険引受収益および保険引受費用を加減算した保険引受利益(△損失)は、前中間期に比べ△211.7%(△5,556億円)減少の△2,932億円となりました。

2. 資産運用の概況

資産運用収益は、利息及び配当金収入の増加(643億円)などにより、前中間期に比べ46.5%(1,627億円)増益の5,127億円となりました。

資産運用費用は、有価証券売却損の増加(180億円)などにより、前中間期に比べ172.3%(700億円)増加して1,105億円となりました。

資産運用収益から資産運用費用を差し引いた資産運用粗利益は、前中間期に比べ30.0%(928億円)増益の4,021億円となりました。

3. 経常利益・中間純利益

経常利益は、保険引受利益の減少により、前中間期に比べ△87.0%(△4,637億円)減少の693億円となりました。

経常利益に特別損益や法人税等合計を加減算した中間純利益は、前中間期に比べ△93.0%(△3,707億円)減少の279億円となりました。

4. 総資産

総資産は、令和3年度末に比べ△2.0%(△6,482億円)減少して31兆9,161億円となりました。

5. ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は、協会加盟会社全社とも法律で求める水準である200%を超え、経営の健全性について問題ない水準となっています。

(注) 下線部分は2023年3月15日に修正しています。